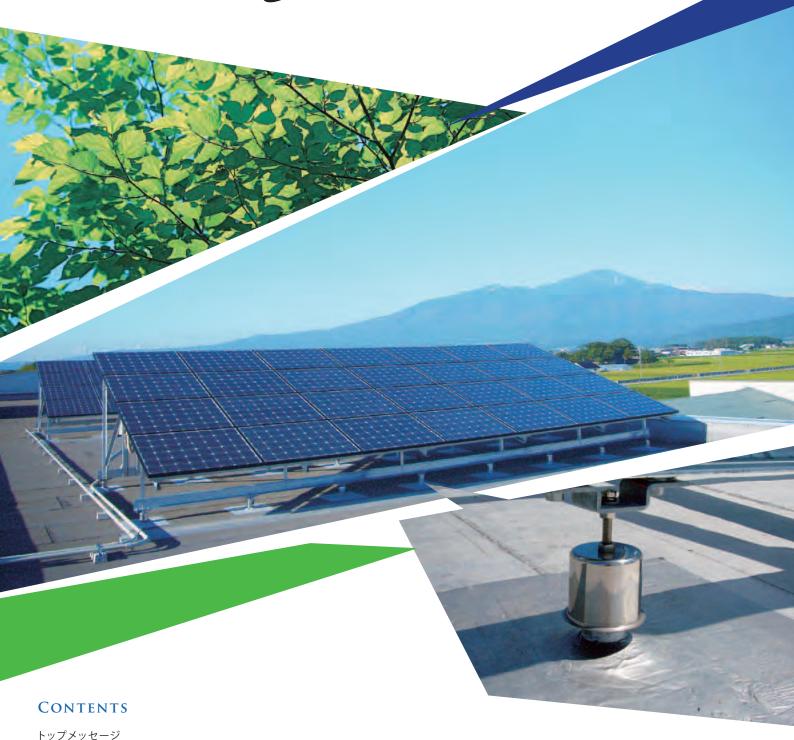
第47期 中間事業のご報告 _{平成22年4月1日~平成22年9月30日}





セグメント別事業概況

連結財務諸表

特集

トピックス





代表取締役社長 洞下美人

経営理念

奉仕は、真価の追求なり 啓発は、未来の追求なり 協調は、繁栄の追求なり

- 計 是 -

創り、活かし、満たす 人のお役に立つために、 創造提案型企業をめざす ―

汁 訓

感性と実践力を磨き、 健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしているもの。 それは「心の経営」です。

心の経営とは、「理想は高く頭は低く実践は 足下から」を基本姿勢とし、

その実践を「挨拶と清掃」に求めています。 こうした日々の実践を通して

活気あふれる職場づくりを目指しております。



「社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理17000』の第1号に認定

中期経営ビジョンの 初年度として、 通期目標の達成を 目指します。

当上半期の業績ならびに通期の見通しについて 概要をお聞かせ下さい。

当社グループの上半期実績は売上高64億2600万 円、経常利益1億6400万円と4期ぶり(平成19年3月 期以来)に増収増益となりました。これは、売上が順調 に推移したことに加え、経費節減など経営努力に一定 の成果がでた結果だと考えます。

売上高を製品別にみると、前期に引き続き耐震補強 の高まりを背景に接着系アンカーや、これに係る工事 関係が好調に推移しました。また、新製品である太陽光 発電システム施工用アンカー「あと基礎アンカー」や 業務用アルコール測定器などの各種測定器も着実に 実績をあげています。これら新製品については、今後も 製品バリエーションの拡充や用途拡大を図り、さらなる 受注確保を目指してまいります。

通期見込みにつきましては、円高や株安などの不安 定な外部環境を鑑み、5月の発表数字から変更してい ません。慎重な予想といった見方もあるかと思います が、まずは中期経営ビジョンの初年度として、必ずやこ の数字を達成し来期以降に弾みをつけていきたいと思 います。

新社長となって約半年が経過しました。 何か変化はありますか?

実は6月の社長就任以降も通常の業務時は、社長室 には移動せず以前のまま社員を見渡せる席にいます。 そこで朝7時半には出社し、皆が出勤する姿を見て、 「おはよう」と声掛けをしています。そうすることで、社

員一人ひとりの表情の変化に気づくこともできます。 「企業は人なり」。今後も挨拶と清掃を軸とした「心の 経営 | を展開し、社員がいきいきと働きやすい環境をつ くっていきたいと考えています。

また人財という観点から、人財育成こそ経営トップの 使命と認識しています。昨今の景気環境においては、 ややもすれば受身の姿勢に陥りがちです。そこで、社員 に対しては、自ら動きお客様に提案する攻めの姿勢を 訴えています。その意識改革も徐々にではありますが、 変化の兆しを実感しているところです。

今期から新たに中期経営ビジョンを策定されま したが、進捗具合はいかがでしょうか?

中期経営ビジョンでは、PLAN2014というスローガ ンのもと、売上高年間5%増や原価5%削減など具体 的な達成目標を掲げています。進捗状況をみると当上 半期の実績では、売上高が5.1%増、売上総利益率は 29.5%で2.1pt改善されており、目に見える形で成果 がでているという印象です。一方、業務改革にむけた 試みも進めており、特に基幹システム導入によるITイ ンフラの整備・構築は来期から本格的な運用がスタート します。今後も社内改革の手を緩めることなく、積極的 に取り組む所存です。

9月にグループロゴマークを一新しました。

中期経営ビジョンとして、2014年度にグループ売上 高200億円の達成を掲げています。これを達成するに は、今まで以上にグループの共生を推し進めなければ なりません。そこで、グループ会社全体で同じロゴマー クを使用することで、ベクトルをあわせ、一体感や結束 力を高めていこうと考えました。今後はマークの統一に とどまらず、よりグループ会社のシナジーを発揮できる よう体制作りを進めてまいります。

最後に株主・投資家の皆さまに

おかげ様で当上半期は増収増益となりました。通期 も目標達成にむけ邁進する所存です。しかしながら、前 述の通り、外部環境は先行き不透明であり、楽観視で きない状況です。当社においては、このような中でも改 革・投資を進め、目先の数字に一喜一憂することなく、 中期経営ビジョンの達成に向け全力で取り組んでまい ります。それが結果として、会社の利益になり、株主の 皆さまへ還元することができるものと確信しておりま す。株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続きま して温かい目で見守ってくださいますよう、何卒よろし くお願い申し上げます。



セグメント別事業概況 **セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致しておりません。

第47期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

ァ ス 事



あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナーなどの締 結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。

事業概況

昨年に引き続き耐震需要が高く、特に西 日本(中国、四国、九州)地区を中心に接 着系アンカーが好調に推移したほか、金 属系アンカーやファスナー製品も順調な 売上を確保しました。この結果、売上高は 5,009百万円、セグメント利益は201百 万円となりました。



77.2% 5.009百万円

テクノテスター 新製品 KT-6 7月21日より新発売

「建築設備現場の管理のための引張試験器」を コンセプトに、7月21日より「テクノテスター KT-6」を発売しました。建築設備現場では狭い 箇所での引張試験が多く、従来品に比べコンパ クトボディーで本体質量も1.7kgと超軽量、そし て、簡易な操作性とシンプルな機能性を追求し た製品です。





J ア



あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物 を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。

事業概況

工事受注や外壁補修事業、FRPシート事 業などが好調であったほか、新製品である 太陽光発電システム施工用アンカー「あと 基礎アンカー」が順調に受注を確保しまし た。この結果、売上高は1,186百万円、セグ メント損失は12百万円となりました。



18.3% 1,186百万円

あと基礎アンカー 6月1日より発売開始

前号の特集で紹介した、太陽光発電システム 施工用アンカー「あと基礎アンカー」が6月1日 より正式発売。スクールニューディール政策を 追い風に、全国の小中学校などで施工実績が でています。なお、来年3月開催の「太陽光発 電システム施工展」に出展予定です。



セ サ 事





車両の表示板用や工事·事故の表示板用、観測機向けなどの電子プ リント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。

事業概況

電子基板関連では設備・車両や医療関連 向けの製品受注が好調であったほか、各 種測定器の売上が寄与しました。この結 果、売上高は293百万円、セグメント損失 は18百万円となりました。



4.5% 293百万円

トピックス

国際物流総合展2010に出展しました (9月14日-17日/東京ビッグサイト)

国際物流総合展は、2年に1度開催される物流 業界最大級の展示会で、当社ではセンサー事 業部が業務用アルコール測定器を出展しまし た。来年4月の法制化にむけ、SG358-S単体か ら新開発のモバイルタイプまで、豊富な製品 ラインナップをアピールしました。



四半期連結貸借対照表(要旨)

	当第2四半 期末	前期末
科 目	平成22年9月30日	平成22年3月31日
資産の部		
流動資産	7,364	7,225
固定資産	6,185	6,174
有形固定資産	5,009	5,181
無形固定資産	59	50
投資その他の資産	1,116	941
資産合計	13,550	13,399
負債の部		
流動負債	5,759	5,539
固定負債	1,284	1,368
負債合計	7,044	6,908
純資産の部		
株主資本	6,449	6,415
資本金	768	768
資本剰余金	581	581
利益剰余金	5,343	5,309
自己株式	△244	△243
評価·換算差額等	△83	△58
その他有価証券評価差額金	△24	△15
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△58	△43
少数株主持分	139	134
純資産合計	6,506	6,490
負債純資産合計	13,550	13,399
1株当たり純資産(円)	3,128.90	3,123.89

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間	前期
科 目	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	6,426	6,114	13,143
売上原価	4,524	4,432	9,426
売上総利益	1,901	1,681	3,716
販売費及び一般管理費	1,731	1,868	3,541
営業利益又は営業損失(△)	170	△186	175
営業外収益	75	62	163
営業外費用	82	80	162
経常利益又は経常損失(△)	164	△204	175
特別利益	0	0	34
特別損失	3	15	16
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	160	△219	193
法人税、住民税及び事業税	61	△84	117
法人税等調整額	△4	6	△35
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	103	_	_
少数株主利益	7	1	7
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	95	△143	105
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失(△)	46.91	△70.48	51.63

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

- 1 / 13/C-18 1 1 2 2 2 -			(= -,313/
	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間	前期
科 目	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	16	475	872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177	8	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19	△204	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	10	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184	290	482
現金及び現金同等物の期首残高	1,207	729	729
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	_	△3	△3
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,023	1,015	1,207

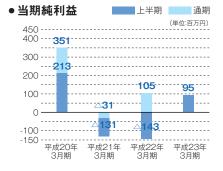
財務ハイライト











● 自己資本比率

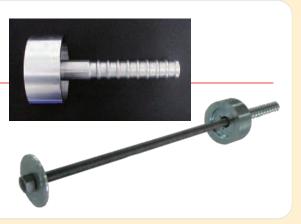


特 集

新たな耐震補強工法を提案

「ディスクアンカー」

前号のTopicsでご紹介した「ディスクアンカー」を用いた、 「MaSTER FRAME(マスターフレーム)構法」が 千葉県内の中学校の耐震補強工事に採用されました。



「全国公立小中学校の耐震化率

現在、小中学校の耐震化率は73.3%で、昨年度の耐震化率は過去最大の伸び率(6.3 ポイント増)になっています。しかし、いまだ耐震補強の済んでいない小中学校は 全国に約33,200棟あり、うち約7,500棟が大地震により倒壊等の危険性が高いと推 計されています。学校施設は非常災害時の地域住民の応急避難場所となるため、国 (文部科学省)はその安全性の確保が極めて重要とし、大規模な地震により倒壊等 の危険性の高い公立小中学校等施設について、優先的に耐震化を支援しています。



バックアップ特

全国公立小中学校の耐震化率(2010年4月1日現在文部科学省調べ)

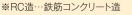
MaSTER FRAME構法とは

MaSTER FRAME構法は、RC造*SRC造*の中低層建物(6階程度まで)に対し最も 効力を発揮する外付け耐震補強工法で、建物の外壁にプレキャスト※(PCa)部材

を取り付けることで、補強後の採光などへの制限を減らし、 既存の工法(鉄骨ブレース)に比べ、機能性やデザイン性を 向上させました。また、5%のコスト削減、現場でコンクリー トを打設するよりも工期を20%削減というメリットを実現 した他、振動・騒音・粉塵の激減など環境負荷を低減した 工法です。



プレキャスト部材



※SRC造…鉄骨鉄筋コンクリート造

※プレキャスト…プレキャストコンクリートの略、工場などであらかじめ製造されたコンクリート製品



補強部の接合イメージ



開発担当者の声

リニューアル事業部 今井 清史

MaSTER FRAME構法は、前田建設工業㈱、東洋建設㈱ と共同開発した工法で、耐震補強工事に使用するアン カーということで、求められる性能も高く開発には非常 に苦労しました。しかし、あと施工アンカートップメー カーとしての技術力とこれまで培ってきたノウハウを活 かし、何度も実験を繰り返し、改良を重ね完成しました。 このディスクアンカーは従来のアンカーに比べ、せん断 に対して約2~3倍の耐力を発揮し、使用するアンカー個 数を大幅に減らすことで、施工コストを削減しました。そ して、今期からテーマに掲げている「環境」についても施 工時の振動・騒音・粉塵を減らすことで作業環境や周辺住 民の方への環境負荷低減を実現することが出来ました。 まだ、耐震補強の済んでいない小中学校が30,000棟以 上あるなか、児童や地域住民の方が「安心・安全」に施設 を利用できるよう、本構法の普及を目指してまいります。

サンコーテクノグループ

S.T.Gロゴマークが進化しました!

9月1日より、コーポレートマークを改め、新たなS.T.G(サンコー テクノグループ) ロゴマークを導入しました。

従来のロゴマークは、1996年のサンコーテクノ誕生(三幸商事 と三幸工業の合併)以来、今日までの15年間使用してきました。 このたびS.T.G新ロゴマークを導入し、全社統一で使用すること で、グループ会社7社がベクトルをあわせ、総合力・結束力そして 「一体感」を推し進めます。

【コンセプト】

グループ各社の啓発された

個性(青)が協調(黒)し合い、

社会へ奉仕:貢献(赤)する

「グループ各社の個性(青)が、Groupの「G」をもじった大き な輪で協調(黒)し合い、サンコーテクノグループとしてより高 い社会貢献(赤)を実現する」ことを表現しています。

金沢営業所移転しました

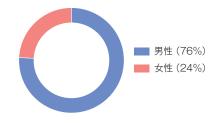
8月2日、金沢営業所が新社屋へ移転しました。新社屋は事務所 と倉庫を同一階にすることにより、動線が上手く取れた使い勝 手の良い事務所となっています。効率化を図り、今後の更なる業 務拡大を目指してまいります。

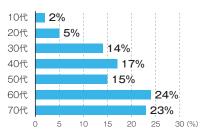


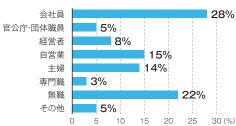
株主様アンケートのご報告

本誌「IR News | 第46期事業のご報告において実施させていただきました、「株主様アン ケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございま した。以下にアンケート結果の一部をご報告いたします。

▶ご回答者様の属性等







▶アンケート回答結果

Q1. 当社のIRニュースの感想は いかがですか?

とてもわかりやすかった	23%
わかりやすかった	62%
どちらでもない	14%
わかりにくかった	0%
とてもわかりにくかった	1%

Q4. 当社株式購入の理由は何ですか? (複数回答)

将来性・成長性	50%
安定性・業界トップシェア	28%
経営トップの考え	15%
商品開発力・技術力の高さ	23%
財務内容	9%
配当性向・配当利回り	31%
その他	5%

Q7. 当社のIR活動についての評価を 教えて下さい。

満足	18%
まあまあ満足	50%
どちらでもない	23%
やや不満	6%
不満	3%

Q2. 特に興味を持ったページはどこですか? (複数回答)

トップメッセージ	51%
セグメント別事業概要	40%
連結財務諸表	17%
特集(あと基礎アンカー)	39%
トピックス	15%

Q3. 今後、当社に何を期待しますか? (複数回答)

安定的な収益	61%
積極的な事業拡大	23%
株主への利益還元	48%
株主優待の実施	37%
工場見学(説明会)の実施	13%
その他	2%

Q5. 当社に対する不満はありますか? (複数回答)

業績	11%
株価	37%
配当	13%
認知度	25%
出来高・流動性	9%
商品 PR	5%
特にない	33%
その他	2%

Q6. 当社ホームページ、IRサイトについて ご感想はいかがですか?

とても見やすい	10%
見やすい	46%
どちらでもない	19%
見にくい	1%
とても見にくい	1%
見たことが無い	23%
見にくい とても見にくい	19

【IR担当より】

今回もご回答者様の85%の方から「わか りやすかった」との評価をいただきまし た。わかりやすい誌面作りを目指してい る私どもにはなによりも励みになりまし た。また、興味をもたれてお読みいただき ましたページはトップメッセージ、セグメン ト別事業概要、特集の順になっておりま す。今後とも関心をいただきましたペー ジをよりわかりやすくお伝えしてまいりま す。皆様からいただきましたアンケート結 果、貴重なご意見は、これまで同様、今後 の当社グループの経営方針やIR活動の 参考とさせていただきます。

会社概要

(平成22年9月30日現在)

商 号 サンコーテクノ株式会社

設 立 1964年5月15日

資 本 金 768百万円

社 員 数 314名

所 在 地 千葉県流山市東初石六丁目183番1

TEL 04-7178-5535 FAX 04-7178-5557

取引銀行 みずほ銀行

りそな銀行

千葉銀行

商工組合中央金庫

事 業 内 容 建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、複合材、防水材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入

○役員・・・

取締	役会	長	洞	下		実
代表取	締役	社 長	洞	下	英	人
取締	役副者	社 長	佐	藤	静	男
常務	取締	6 役	洞	下	正	人
常務	取締	6 役	八	谷		剛
取	締	役	上	石	茂	行
取	締	役	増	田	誠	次
取	締	役	佐	藤		靖
監	査	役	甲	斐	常	敏
監	査	役	鈴	木	英	雄
監	査	役	塙		善	光

連結子会社 SANKO FASTEM(THAILAND)LTD.

三幸商事顧問股份有限公司

株式会社IKK

アイエスエム・インタナショナル株式会社

株式会社スイコー

持分法適用関連会社 株式会社サンオー

持分法非適用関連会社 株式会社イーオプティマイズ

株式の状況

(平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数············3,500,000株 発行済株式の総数···········2,186,352株

○大株主・・・・

当社への出資状況

	当位,100四县1000	
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 実	248	11.35
東京中小企業投資育成株式会社	180	8.24
有限会社サンワールド	168	7.69
サンコーテクノ社員持株会	150	6.87
濱中ナット販売株式会社	149	6.82
武藤 昭二	93	4.28
新井 栄	68	3.13
洞下 照夫	53	2.46
株式会社みずほ銀行	44	2.04
佐久間 菊子	41	1.91
^^		

⁽注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

サンコーテクノ株式会社

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで 定時株主総会 事業年度末日の翌日から3か月以内

基 準 日 3月31日

配当基準日 3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人特別口座の口座管理機関

よ みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告の方法 電子公告により当社ホームページ (http://www.

sanko-techno.co.jp/)に掲載いたします。ただし、 事故、その他やむを得ない事由によって電子公告を する事ができない場合は、日本経済新聞に掲載い

たします。

お問い合せ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物 送付先		〒168-8507東京都杉並区 和泉二丁目8番4号
電話お問い 合わせ先	お取引の証券会社に なります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

Web Information

当社のホームページでは株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示をしております。当社をより理解していただくためにも、ぜひアクセスをお願いいたします。

http://www.sanko-techno.co.jp/



IR情報画面





^{2.} 当社は自己株式(151千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。